



イヌは1年で、いくつ年をとるの

イヌの1年は、人間の6年分

イヌは、よく、1年で人間の6才分年をとるといわれます。なぜでしょうか。イヌのじゅ命から考えると、イヌが12才にもなると、人間にたとえれば、70才ていどのお年寄りと判断されます。そこで、70才をイヌの12才で割り算してみると、イヌの1才が人間の6才分になるという答えが出てきます。

イヌは最初の1年の成長が速い

イヌは、ふつう、生まれて1年ぐらゐると、子どもを産めるようになります。人間は、6才では、まだ小学生にもなっていません。人間が赤ちゃんを産めるようになるのは、およそ16才ぐらゐです。ですから、イヌは、最初の1年で16才まで、成長してしまうといえます。どうやら、イヌは、始めはすごいスピードでおとなになり、それから少しゆっくりしたスピードで年をとっていくようです。たとえば、イヌは1年で16才、2年目で20才、3年目で25才、5年目で35才、というような、成長のしかたをしているといえそうです。

イヌの種類でちがいがありそう

ただし、これは1つの目安で、イヌの種類や、体の大きさなどによって、それぞれちがってくるはずですよ。

屋外で飼われているイヌは、カがうつすフィラリアという病気で、数年で死ぬことが多いようです。予防の薬や、フィラリア虫を殺す薬などを定期的にあたえると、長生きします。イヌの長生き記録では、イギリスの牧羊犬の、27才11か月という例があります。

(監修・今泉 忠明)

